

シンポジウム

植物を用いたバイオ医薬品の 開発の現状と今後の課題

1. 医薬品作物・医療用素材の開発-農畜産物の需要拡大を目指して
松本 隆 (農林水産省農林水産技術会議事務局)
2. 実用化に向かう医療用タンパク質の植物による生産
藤山 和仁 (大阪大学)
3. スギ花粉症治療米の開発
高岩 文雄 (農業生物資源研究所)
4. スギ花粉症治療米の医薬品としての承認に向けた各種規制への対応状況
高野 誠 (農業生物資源研究所)
5. スギ花粉症緩和米の臨床研究
斉藤 三郎 (慈恵医大)
6. アレルギー治療米の通年性慢性アレルギー疾患への応用
廣井 隆親 (東京都臨床医学総合研究所)
7. T細胞エピトープ発現米の食物アレルギーへの応用
八村 敏志 (東京大学)
8. スギ花粉症緩和米を用いた舌下免疫療法の有効性
川内 秀之 (鳥根大学)
9. 理研発IgE産生抑制薬によるアレルギー疾患根本治療への挑戦
石井 保之 (理化学研究所)
10. スギ花粉症に対する舌下免疫療法の実際
大久保 公裕 (日本医科大学)

平成25年11月8日 (金) 9:30-16:50

会場：UDX Conference 6F

(JR 秋葉原駅 電気街口より 徒歩2分)

主催 独立行政法人農業生物資源研究所

事前登録・お問い合わせ：cedar@ml.affrc.go.jp

参加は無料です。



National Institute of Agrobiological Sciences